

愛知医科大学の医学教育が目指すもの

【教育研究上の目的】

医学部は、プロフェッショナリズムを備え、地域社会の様々な人々と良好な関係を築きながら、質の高い医療が提供でき、また、幅広い医学知識、高い診療技能及び科学的探究心を持った医師を育成すること。

【教育理念】

医学部の教育理念は、医学知識や技術の修得はもとより、医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。すなわち、建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力、社会貢献の自覚を養い、情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。

【教育目標】

ヒューマニズムに徹し、医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成すること。

- 1 将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識、技能、態度を身につけ、生涯にわたる学修の基礎をつくります。
- 2 自主性・創造性を身につけ、問題解決能力を高めます。そして、医学の進歩と、医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。
- 3 医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え、自然科学のみならず、その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。

【カリキュラムの特徴】

- ① 基礎科学教育の再編・充実にて自律的学修の能力を修得すると共に、基礎医学、臨床医学の理解の確固たる基盤を作る。
- ② 1学年次から基礎医学を学び、学修意欲の向上を目指す。
- ③ プロフェッショナリズム、行動科学教育、多職種連携教育・倫理教育を実施し、医療人としての基本的価値観、資質、能力を継続的に修得する。
- ④ 1学年次から早期体験実習・社会医学実習・地域医療実習を学外施設で行い、地域社会への貢献の自覚を深める。
- ⑤ 基礎・社会・臨床医学の専門科目においては、垂直・水平統合を推進し、医学、医療への総合的視点を早期から涵養する。
- ⑥ 1学年次後学期から4学年次前学期の6限目に選択講座を開講し、学生の個々のニーズに合わせた知識、技能を修得する。
- ⑦ 1～4学年次の学業不振者に対してグループ学修を用いた継続的な学修支援を行う。
- ⑧ 社会医学、社会医学実習の充実により、社会と医療の関係の理解、社会の中での医療人としての役割の自覚を深める。
- ⑨ 臨床講義では、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、自己学修の習慣を維持するとともに、科目毎に試験を実施し、医学知識の確実な定着を図る。
- ⑩ 80週（クリニカル・クラークシップ72週、臨床前実習8週）の臨床実習にて実践力のある良き臨床医の基盤を作る。
- ⑪ 臨床実習中の臨床現場における学習者評価（workplace based assessment）を積極的に取り入れ、診療参加型臨床実習の充実を図る。
- ⑫ 臨床実習期間中に定期的に総合試験を実施して知識の定着を図り、臨床実習での学びを深める。